



平成30年度

学校づくりビジョン

四日市市立羽津北小学校

本校の《学校教育目標》は、「自分らしさを出し合い、共に学ぶ子どもの育成」です。

この目標を達成するためには、「よく考え、力いっぱい学習する」「違いを認め助け合って行動する」「進んで体を鍛え、命を大切にする」ことができる子ども達にしたいと思います。そのために「子どもとともに学び、自ら成長し続ける」教職員でありたいと考えます。そして学校が子ども達も教職員も「一人ひとりが認められ、活躍できる学校」になることを目指しています。ビジョン実現のための具体的な取り組みとして、下記のように5つの「重点」があります。

重点
1

共に学び、確かな学力を 獲得する授業

- ①話す、聴く、話し合う、読む、書くなどの基礎基本の定着を図るために授業(学習ルールなど)を工夫します。また、個別に授業中の学習支援(T.T 指導)をしたり、家庭学習が充実する支援(家庭読書・家庭学習のてびき)をしたりします。
- ②学び合いを基にした問題解決的な学習を充実させるために、思考力・判断力・表現力を育むための指導方法(ホワイトボードの活用など)を考えたり、授業を工夫したりします。



重点
2

心の教育

- ①いじめを生まない集団づくり(いじめ調査・教育相談)や主体的に子ども達が活動できる心豊かな学年・学級集団づくりを進めます。また、励ます、認めるなどの肯定的な評価をして自己有用感を高める取り組みを進めます。
- ②一人ひとりの違いや多様性、特徴を大切に学習支援(校内通級など)を充実させます。
- ③生活面、学習面の規範意識を高めるために「はづきたのやくそく」「けやきっ子十か条」を守れるように指導します。また、早めの指導、温度差のない指導を心がけます。



自己有用感とは、他人の役に立った、他人に喜んでもらった等、相手の存在なしには生まれてこないものです。子ども達が自信をもって成長できるよう、「ほめて(自信を持たせて)育てる」ということより「認められて(自信をもって)育つ」ことを大切にする指導を心がけます。

重点
3

体力、健康・安全意識

- ①進んで体を鍛える子ども達になるよう基礎体力・運動能力の向上(体育の授業・登山・業間マラソン・学級遊び・縄跳びなど)に取り組みます。
- ②健やかに成長できるよう保健学習や保健指導(歯みがき・手洗い・姿勢など)、食育(アレルギー対応・給食指導など)の充実に取り組みます。
- ③安心して学校生活が送れるよう危険を回避できる力をつけます。(避難訓練など)また、安全に登下校できるよう指導します。



重点
4

教職員の資質・能力

- ①国語を中心に職員研修や個人研究が充実するよう取り組みます。また、保幼小中を見通した指導方法や授業を、羽津中学校区の教職員が協力して工夫します。
- ②全教職員が積極的に学校の教育活動に取り組み、お互いが連携して指導ができるよう校内の組織の充実を図ります。
- ③子どもと接する時間を増やすために、会議や仕事の効率化等を図り、改善と工夫をして「働き方」を見直します。
- ④各自の持ち味が活かされる職場になるよう、元気のある教職員集団づくりを進めます。



重点
5

地域・家庭と協働する 学校づくり

- ①学校ホームページや学校・学年だより等、地域や家庭への情報発信の充実を進めます。
- ②地域支援ボランティアの方や読み聞かせ・語り聞かせボランティア、外部講師の方と協力して授業(チャレンジタイムなど)を充実させます。
- ③陶芸を全学年で実施したり、地場産業に関する教職員研修をしたりして、地域の文化や伝統産業等の教材化を行います。
- ④家庭との連携(家庭訪問・教育相談など)を密にします。また、地域の団体と連携し、家庭の教育力充実への支援をします。



羽津北小学校では、上記のように取り組みを進めていきたいと考えています。ご家庭でのご協力や見守りをよろしくお願いします。